＜様式２＞

# 令和３年度　さいたま市立西浦和小学校　学校関係者評価書

さいたま市立西浦和小学校

学校関係者評価委員長　　加藤　武喜　㊞

## １　学校関係者評価の実施体制

（１）構成人数　7名（教育関係者2名、PTA関係3名、地域住民代表2名）

（２）実施回数　2回（令和3年7月1日・令和4年3月に文書にて開催）

## ２　学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

○今年度の教育活動の成果について

・コロナ対応一色になった1年であったが、学校の普段とは違う対応に感謝したい。知恵と工夫を絞り、できる限りのことを実施していただいたことに感謝する。

・学校評価からも子どもたちの学習内容の理解が進んでいると見える。ただし、ごくわずかであるが、理解していない子もいるようなので、取りこぼしのないよう全体のレベルアップを望む。

・コロナ禍の今、今までの教育を見直し、子どもたちの心に残るものを進めていってほしい。

○地域への情報発信について

・感染拡大防止のために学校に保護者が来校する機会が少なかったため、不安に感じている保護者もいたようだ。学校は便りやホームページ、安心メールなどで十分情報発信をしてくれているが、保護者が身近なコミュニティを作れていないため、全て学校から情報を得ようとしているのも情報発信への不満の一因かと思われる。

○子どもの成長・保護者の様子について

・子どもたちはアンケート結果にあるように、学校に楽しく通えている。それが何よりのことだと思う。コロナ禍で、できなかったことを嘆くのではなく、工夫してできたことを喜び、場を設けてくれた学校、保護者、地域に感謝できている。

・子どもだけでなく、保護者も自分のことを主張するが、相手を認められない人が増えているように思われる。次年度は様々な取組で保護者同士をつなぐ場を作っていけるとよい。

## 学校関係者評価を受けた学校の対応

○コロナ対応に追われ、できなかったことが多かった1年であったが、今までの当り前を見直すよい機会となったので、令和4年度に向け行事の精選、取り組み方の工夫を進めていく。

○懇談会や学校保健委員会、教育講演会などを通じ、保護者への啓発活動などを行うことで、学校へのさらなる理解と協力体制の構築を進めていく。

○基礎基本の定着をめざし、授業力向上のための研修体制をつくり、一人ひとりがかがやく教育を推進していく。

さいたま市立西浦和小学校長　　石　田　　成　夫　印

※　Ａ４　１枚程度に簡潔にまとめる。教育委員会に**写し**を提出する。